

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	スタイリスト学科
専攻	メイクアップ専攻

授業科目	1年次		2年次		実務経験者 科目時間	ページ数
	単位 時間数	実務経験 教員	単位 時間数	実務経験 教員		
服飾造形	90		90			3,21
デザイン画	36	○	36	○	72	4,22
造形デザイン	36					5
スタイリストワークA	36	○			36	6
スタイリストワーク			36	○	36	23
パソコンワーク			18			24
ディスプレイ	36	○	36	○	72	7,25
ファッションゼミA	36	○	36	○	72	8,26
ファッションゼミB	126		234			9,27
メイクアップ基礎	72	○			72	10
メイクアップテクニク			72	○	72	28
色彩学	36	○			36	11
ファッション総論	36	○			36	12
トレンド研究			36	○	36	29
F.コーディネーション	36	○			36	12
F.コーディネーションB	18					13
服飾美学	36	○			36	14
ファッション販売	36	○	51	○	87	16,30
パーソナルカラー検定			36	○	36	31
キャリア開発			18	○	18	32
オープン実習	144	○	144	○	288	17,33
ファッションイベント	68		68			18,34
進級制作	72	○			72	19
卒業制作			72	○	72	35
計	950	612	983	573	1185	

スタイリスト学科

メイクアップ専攻 1年次 教育課程

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	6
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	畑山 浩子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	90
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	洋服の構造、ディテールの名称、縫製方法を知る。 実物を作り、作り手の苦勞を知ることによって洋服を丁寧に扱おうという気持ちを生み出す。 スタイリングでトータルコーディネートをする際に、想像したモノを形にする技術を身につける。		
授業の概要	衣服の構造と初歩的な縫製技術をマスター。 完成した作品を使って目的にあったコーディネートを学ぶ。 アパレル業界で商品として扱う服の基礎知識を身につける。		
授業計画	前期	4月	・洋裁道具の確認と名称について ・ミシン・ロックミシン講習（業者） ・ピンクッションの製作（手縫いの練習、印のつけ方、待ち針の打ち方を学ぶ）
		5月	・部分縫い（縫い代の始末の種類と仕方を学ぶ） ・トートバッグの製作（ミシン、ロックミシンの練習） ・シャツ制作（生地準備、型紙作成、地直しの仕方を学ぶ） ・採寸（採寸の仕方、箇所・名称の把握、サイズを学ぶ）
		6月	・シャツ製作（裁断、印付けの仕方、縫製順序を学ぶ）
		7月	・シャツ製作（縫製、仕上げアイロンの仕方を学ぶ） ・部分縫い（まつり縫いの種類と仕方を学ぶ）
		8月	・部分縫い（コンシールファスナーの付け方を学ぶ）
		9月	・スカート製作（テーマに合わせた作品を考えることを学ぶ）
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題・実技50% 出席率・授業態度50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	北澤 春江	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	36
実務教員	○ ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当。以降本校で長年デザイン画を教授している。		
授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画を習得し、人体のバランス及びウェアの特徴を理解する		
授業の概要	ヌードプロポーションの基礎から応用までを描く デザインディテールを理解し、デザイン画として表現する		
授業計画	前期	4月	授業予定や目標、デザイン画の役割
		5月	ヌードプロポーションの基礎
		6月	ヌードプロポーションの応用
		7月	部分練習 顔、手、足
		8月	着装プロポーション
		9月	着装プロポーション
	後期	10月	ファッション誌の写真模写
		11月	マテリアルの描き方
		12月	マテリアルを活かしたデザイン画
		1月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		2月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

学科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単 位	2
科目名	造形デザイン		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	×			
授業の到達目標 及びテーマ	限られた条件の中でアイデアを膨らませ形にする制作を通じ、自分の個性を伸ばし伝えたいイメージを的確に表現できるようにする。 また物を正しく見るトレーニングで右脳を活性化し、集中して楽に正しく描けるようになる。自分の中の可能性を実感し、自信を持つ。			
授業の概要	平面における色と形による基本的な表現の基礎を学び実践する。 色の再現を通じて各自が使う色域の範囲を広げる。 対象物を様々な見方で描く実習を行い、見方と描き方の変化を検証する。			
授業計画	前期	4月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・トレーニングの説明 トレーニング前の記録・自分の顔
		5月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・逆に描く すばやく見る
		6月	パターンデザイン 屋外デッサン	ゆっくり見る
		7月	色の模写	対象物と背景の捉え方 光と影の描き方①
		8月	色の模写	光と影の描き方②
		9月	ミクストメディア コラージュ	記号化の理解とそこから逃れる方法 自分の顔・トレーニング成果の検証
		10月	ミクストメディア・コラージュ	
	後期	11月	ヴィジュアルブック	
		12月	ヴィジュアルブック	
		1月	デッサン	
		2月	授業のまとめ	
		3月		
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況40% 課題完成度40% 授業態度20%			

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	スタイリストワークA	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	松永 かずえ		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 <input checked="" type="radio"/> 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)メイクボックスの代表取締役として、長きにわたってスタイリスト経験を持つ講師が、ファッションスタイリングの基礎知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションスタイリングの基礎知識の習得		
授業の概要	スタイリングテクニックの種類を知り実践する スタイリングマップ製作、トルソー着せつけ、プレゼンテーション		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	スタイリングテクニック オケージョンスタイリング
		11月	スタイリングテクニック カラーコーディネート
		12月	スタイリングテクニック 体型カバー
		1月	
		2月	トータルスタイリングについて
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 50% 課題50%		

教育課程

学年・科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単位	2
科目名	ディスプレイ		授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	佐々木 美穂		(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	ディスプレイデザインのキャリアを積み、現在フリーのデコレーターとして活躍する講師が、ディスプレイ、ショップの商品陳列の基本、構成方法、ディスプレイの施工方法を総合的に教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	ディスプレイ技術の基本・基礎知識の習得を目標とする			
授業の概要	ビジュアルマーチャндаイジング (VMD) を学びディスプレイの目的を習得する。演習を行いながらテクニックや発想力を鍛える。			
授業計画	4月	リアル店舗の役割について学ぶ		
	5月	購買心理を学習 イメージをデザインにする演習		
	6月	VMDと構成 演習を行いながらマネキン、什器を学ぶ		
	7月	テグスワーク・ピンワークを学習 トルソーを使い、各自作品を制作		
	8月			
	9月	コーディネート、スタイリング、フォーミングの学習		
	10月	年間イベントのテーマに沿った表現方法を学習		
	11月	ラッピング技術を学習 用途に合わせたラッピング方法を学ぶ		
	12月	グループでの校内ショーウインドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)		
	1月	グループでの校内ショーウインドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)		
	2月	行内のショーウインドウ制作をとおして年間学習を総括		
	3月			
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率40%、課題20%、授業態度20%、実技20%			

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ファッションゼミA	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/>
担当教員名	小幡 賢二		<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
授業方法	講義 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実習	授業時間数	36
実務教員	○ 東京メイクアップアトリエ「エボック」にてメイクアップアーティストとして活躍後、本校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標 及びテーマ	進級制作の指導		
授業の概要	進級制作における個人テーマ設定からコンセプトワーク及び作品制作を指導。作品完成までの作業指導及びプレゼンテーション指導。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	進級制作個人テーマ設定、コンセプトワーク①
	後期	10月	進級制作個人テーマ設定、コンセプトワーク② 作品制作チェック
		11月	作品制作チェック
		12月	作品制作チェック
		1月	作品制作チェック
		2月	発表（ショー）構成
		3月	発表
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題・実技50% 出席率・授業態度50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1	
コース名	メイクアップ	単 位	8	
科目名	ファッションゼミB	授業期間	前期 (後期) 通年	
担当教員名	畑山 浩子		(必修) 選択	
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	126	
実務教員	×			
授業の到達目標 及びテーマ	スタイリストとしてテーマにそってスタイリングする事の重要性を考え、ファッションゼミAでのテーマ設定を踏まえ、前期で学んだ縫製技術を活用し作品制作をする。			
授業の概要	テーマにそった作品を、縫製しスタイリングする。			
授業計画	前期	4月		
		5月		
		6月		
		7月		
		8月		
		9月		
	後期	10月	進級制作 (型紙作成、裁断、印付け)	
		11月	進級制作 (縫製)	
		12月	進級制作 (縫製)	
		1月	進級制作 (スタイリング)	
		2月	進級制作 (発表構成)	
		3月	進級制作 (発表)	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題・実技50% 出席率・授業態度50%			

学科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単 位	4
科目名	メイクアップ基礎		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	本宮 カズヒロ/島香 淑		必修	選択
授業方法	講義	演習	実習	授業時間数 72
実務教員	○	<p>【前期】(株)コーサーにて商品企画、演出、メイクアップアーティストとして活躍。現在は(株)ビューマックスにてコーサー、コスメデコルテ専属メイクチームを率いているメイクアップのスペシャリスト。</p> <p>【後期】～2017年まで、東京、大阪にて他分野にてヘアメイクをして活動後、仙台を拠点に全国へ活躍の場を広げている。</p>		
授業の到達目標 及びテーマ	スキンケアとメイクアップの基礎知識、技術を身につける フルメイクをきちんとスムーズに行えるようになる			
授業の概要	理論、デモンストレーション、相互モデルによる授業進行			
授業計画	前期	4月	スキンケア、トリートメント基礎	
		5月	メイク概論、ベースメイク、ポイントメイク	
		6月	ベースメイク、ポイントメイク、仕上げ	
		7月	フルメイクレッスン	
		8月	イメージ表現(甘/辛)導入	
		9月	イメージ表現(甘/辛) (甘)キュート・フェミニン (辛)ボーイッシュ・クール	
	後期	10月	ナチュラルメイク基礎復習	
		11月	テーマ別メイク：ブライダル	
		12月	テーマ別メイク：アートメイク	
		1月	デザインメイク①	
		2月	デザインメイク②	
		3月	進級制作用メイクデザイン 練習	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 実技40%			

学科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単 位	2
科目名	色彩学		授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	相田 志		(必修)	選択
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	(株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	色相環とトーン表を理解することで色が出来る仕組み＝混色を学ぶ 色彩調和論の基本から色から伝わるイメージを理解する 色彩検定3級合格を必達し、自主的に2級を取得する力を付ける			
授業の概要	色彩の基本を理解し、配色の基本、カラーが伝えるイメージを理解する。 アパレルにおけるカラーの重要性を理解し、色によって感じ方の違いを学ぶ。			
授業計画	前期	4月	2019SS、AWコレクションよりトレンドカラーを知る。	
		5月	PCCSの色相環とトーン表を理解する 絵具を使って混色を実践。色はどうやってできるのか？	
		6月	色相環とトーン表より色の特性を学ぶ 色の持つイメージを理解する	
		7月	光と色 色はなぜ見えるのかという科学的な根拠を学ぶ 目の構造と、「光、物体、視覚」の関係	
		8月	色の三属性 色の視覚的効果	
		9月	色の視覚的効果と知覚的効果 色相、トーンからの配色	
	後期	10月	ファッション、インテリアにおける色彩 3級検定対策問題	
		11月	3級検定対策問題 試験後は2級基礎～マンセル表色系	
		12月	JISの色名と系統色名 ナチュラルハーモニーとコンプレックスハーモニー	
		1月	自然から学ぶ色彩 配色技法応用	
		2月	光の性質と色 照明の知識	
		3月		
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%			

学科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単 位	2
科目名	ファッション総論		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	小幡 賢二		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○	東京メイクアップアトリエ「エポック」にてメイクアップアーティストとして活躍後、本校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標及びテーマ	スタイリスト、コーディネーターの仕事と役割について学ぶ 様々なシーンにおけるファッショントータルコーディネートの実践と提案			
授業の概要	2種類の研究テーマを通して、知識だけでなく、実践も行いながらトータルコーディネートを学ぶ			
授業計画	前期	4月	スタイリスト概論 スタイリストの仕事と役割	
		5月	研究テーマ①「マイウィークリーコーディネート」実践 自分自身のワードローブからのコーディネートの実践授業	
		6月	↓	
		7月		
		8月		
		9月	研究テーマ②「雑誌オリジナル表紙」制作 コンセプトワーク、スタイリング、撮影、仕上げ、プレゼンテーション	
	10月			
	後期	11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 課題40%			

学科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単 位	2
科目名	ファッションコーディネート		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○	銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションに必要なコンセプトメイキングツールとしての要素の基礎を学ぶ			
授業の概要	多種多様な雑誌を利用し、マップ作りの基礎、プレゼンテーションの基礎を学ぶ			
授業計画	前期	4月	ファッション学に関するオリエンテーション 「自分にとってのファッション観とは？」	
		5月	ファッションを文化と捉え、ファッションを構成する4大テーマを映像学習し、レポートを作成する	
		6月	・人はなぜ装うのか？ ・世界のファッションデザイナー ・素材 ・色彩	
		7月	オケーションスタイリング(TPOの概念から対応するベストコーディネートの提案、マップ作り)	
		8月	ライフスタイリング→クラスター分析 ・衣食住+遊休知美というカテゴリーの把握から客層分類へ発展	
		9月	ライフスタイリングのマップ作り プレゼンテーション	
	後期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 出席率50%			

学科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単 位	1
科目名	ファッションコーディネートB		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	畑山 浩子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	18
実務教員	×			
授業の到達目標 及びテーマ	8大感性を学ぶ事により曖昧なファッションイメージを明確にし、他者に伝える力を養う。ファッションイメージを他者に伝える為の言葉のツールを増やすようにする。			
授業の概要	・各感性に関係する用語を調べ、イメージ分析、マップ作成。			
授業計画	前期	4月	①ロマンティック 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		5月	②マニッシュ 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
			③スポーティブ 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		6月	④エレガンス 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
			⑤エスニック 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		7月	⑥モダン 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
	後期	8月	⑦アバンギャルド 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		9月	⑧クラシック 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
3月				
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 出席率・授業態度50%			

学科名	スタイリスト		履修年次	1
コース名	メイクアップ		単 位	2
科目名	服飾美学(素材学、ビューティー、服装史)		授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	門馬 よし子/小幡 賢二/大宮 恵理		(必修)	選択
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	大宮恵理：(株)ジュン、イギン(株)、(株)リーガルマインドを通してパタンナー、デザイナー、そしてライセンスコーディネーターとして活躍していた。 小幡賢二：(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標 及びテーマ	(素材)洋服を制作する際に必要な素材の特徴、基本的な布地名、クリーニング法、被服の保管・加工法などの勉強。(ビューティー)ファッション業界でのスタイリスト、メイクアップアーティストの仕事と役割、世界観を学ぶ。(服装史)服装の成り立ちから現代のファッションデザインソースへの創造力の育成、服飾基礎理解と固定概念からの脱却。			
授業の概要	(素材)洋服を具体的な形にするための知識とそれをどのような素材で制作するか等の性質の特徴を習得する。(ビューティー)在仙で活躍するスタイリスト、メイクアップアーティストがテーマに合わせたテクニックを披露する。(服装史)海外ファッションと日本のファッションの関わりを理解。			
授業計画	前期	4月	繊維の種類と特徴と分類(素材)	
		5月	天然繊維の知識・動物繊維の知識(素材) 2019年春夏メイトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)	
		6月	羊毛についての知識・化学繊維の知識(素材) 2019年ブライダルビューティー学(ビューティー)	
		7月	基本的な布地の名称・織物の三原組織(素材)	
		8月	プリント柄の分類及び名称(素材)	
		9月	ストライプ&チェック柄の名称(素材) 2019年秋冬メイトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)	
	後期	10月	服地の表裏・たて・よこの見分け方、燃焼による布地の鑑別法(素材) 世界服飾の流れ、ヨーロッパのファッション史Ⅰ&Ⅱ(服装史)	
		11月	家庭用合成洗剤のあらまし及びクリーニング法(素材) モード産業、新しい衣服の方向Ⅰ(服装史)	
		12月	被服の保管(素材)	
		1月	しみの種類としみ抜き方法・加工法について(素材) 新しい衣服の方向Ⅱ、後期試験(服装史)	
		2月	試験解答手交、解答説明(服装史)	
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% レポート25% 試験25%			

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ファッション販売	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	相田 志	必修	(選択)
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	接客のマナーやアパレルに基礎知識を学ぶことで、販売スタッフの役割とアパレル業界全体を知る。トレンド情報を始めとして情報収集能力を身に付ける。ファッション販売能力検定3級取得。		
授業の概要	素材、アイテムの知識など、現在の販売スタッフに不可欠な専門知識を学ぶ。ITが進化する中、実店舗の販売スタッフの役割を理解する。VMDの基本理解。		
授業計画	前期	4月	洋服が出来るまで。アパレル流通の流れを知る。 2019トレンド情報から実店舗のトレンドを理解する。
		5月	ファッション業界における職種と販売という仕事の役割。 販売の基礎知識と社会人としてのマナー。
		6月	小売店の業種と業態。小売店の種類。 SPA、OEM、ODMなど現在の物づくりの仕組み
		7月	提案できる販売スタッフになるために必要な知識。 AIDMAの法則から販売スタッフの行動を理解する。
		8月	ライフスタイル提案型ショップとSPAの台頭。 服飾雑貨、インナーの基礎知識
		9月	アイテムの知識 洗濯表示
	後期	10月	素材の基礎知識と、お手入れの方法 店舗運営の基本
		11月	VMDの基礎知識 マーチャンダイジングの基礎知識
		12月	ファッション業店舗のマーケティングの基本 販売業務と付帯業務
		1月	ファッション販売検定2級対策として用語の整理 2020SS、AWトレンド情報からトレンド予測
		2月	キャリアプラン。職種と役割を知る ファッション販売売力検定2級対策基礎
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年
担当教員名	畑山 浩子		<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	68
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。		
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	学校テーマ発表
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	卒業制作審査会
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ
		2月	練習、PR ファッションショー本番
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	1
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	進級制作	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	小幡 賢二		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 東京メイクアップアトリエ「エポック」にてメイクアップアーティストとして活躍後、本校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標及びテーマ	1年間で学んできた内容を振り返り、グループワークにてショーを行うことで、次年度への目標を再確認する。		
授業の概要	年間の学びの総まとめとして、コーディネート提案を行う。 クラステーマに沿ったコーディネートを既製服を使って提案する作品と、自分でデザインしたものをトータルコーディネートする作品を制作する。 メイク案もオリジナルで制作し、ファッションショー形式で発表する。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	進級制作
		11月	テーマ検討 デザイン案作成
		12月	メイク案検討
		1月	作品縫製
		2月	ショー構成検討
		3月	制作物まとめ 評価
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度20% 課題30% プレゼンテーション20%		

スタイリスト学科

メイクアップ専攻 2年次 教育課程

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	6
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	畑山 浩子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	90
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作（実物作品）の為に必要なパターン・縫製の応用知識を学ぶ。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パターン展開の練習。（縮尺） ・テーマ・条件に合わせたアイテムの制作。 ・実際に学んだパターン力を活用しての作品制作。 		
授業計画	前 期	4月	パターン展開練習（スカート）
		5月	パターン展開練習（袖、原型、衿、デザインの応用） パンツ製作（パターン作成、裁断、印つけ、仮とじ）
		6月	パンツ製作（縫製、まとめレポート） トップス製作（パターン作成、裁断、印つけ）
		7月	トップス製作（縫製）
		8月	トップス製作（まとめレポート）
		9月	卒業制作（個人テーマ決め・ミーティング）
	後 期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題・実技50% 出席率・授業態度50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	北澤 春江	必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当。以降本校で長年デザイン画を教授している。		
授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画のレベルを上げ、様々なファッションビジネスシーンで活かしていく		
授業の概要	テーマに沿ったデザイン画を描けるようになる デザインバリエーションの演習		
授業計画	前期	4月	テキストを使用し、カテゴリー別のデザイン画の練習
		5月	テキストを使用し、カテゴリー別のデザイン画の練習
		6月	デザインコンテストへの参加
		7月	素材表現のテクニック
		8月	個性、方向性に沿ったデザイン画
		9月	個性、方向性に沿ったデザイン画
	後期	10月	卒業制作に向けてのデザイン画考案
		11月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		12月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		1月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		2月	修了課題
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	スタイリストワーク	授業期間	<input checked="" type="radio"/> 前期 後期 通年
担当教員名	松永 かずえ		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 <input checked="" type="radio"/> 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)メイクボックスの代表取締役として、長きにわたってスタイリスト経験を持つ講師が、ファッションスタイリングの基礎知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	イメージ、テーマに沿ったトータルスタイリングの提案及び フォトブック製作		
授業の概要	イメージを表現するスタイリングマップ製作、ヘアメイク、トータルコーデ 撮影実習		
授業計画	前期	4月	テーマを決めるミーティング
		5月	トータルスタイリング作品①②
		6月	トータルスタイリング作品②
		7月	トータルスタイリング作品③④
		8月	
		9月	トータルスタイリング作品⑤
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 50% 課題50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	1
科目名	パソコンワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	パソコンによる基本的なグラフィックデザインと動画編集を経験し、卒業制作における各自のプレゼン用動画の制作と、企画書のデザインが出来るようにする。		
授業の概要	「イラストレーター」と「フォトショップ」の基本機能の説明 簡単なグラフィックデザインの制作 簡単な動画編集の演習と作品制作		
授業計画	前期	4月	授業の説明 イラストレーターによる名刺のデザイン
		5月	イラストレーターとフォトショップによる画像の合成 ポストカード制作
		6月	転写プリント（エコバッグ・Tシャツなど）
		7月	
		8月	スライドショー制作
		9月	企画書の表紙デザイン・授業のまとめ
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況 40% 課題完成度 40% 授業態度 20%		

教育課程

学年・科名	スタイリスト学科		履修年次	2
コース名	メイクアップ		単位	2
科目名	ディスプレイ		授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	佐々木 美穂		(必修)	選択
授業方法	講義	(演習)	実習	授業時間数 36
実務教員	○	ディスプレイデザインのキャリアを積み、現在フリーのデコレーターとして活躍する講師が、ディスプレイ、ショップの商品陳列の基本、構成方法、ディスプレイの施工方法を総合的に教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	ショップ・展示会・ステージ装飾などで生かせる企画・プラン・制作・施工 コーディネートをトータルで行えることを目標とする。			
授業の概要	グループでのショーウィンドウ制作を通じ、テクニックの向上と多方面に活かせる ストアディスプレイの理解を深め、コミュニケーション力とプレゼン力を鍛える。			
授業計画	4月	ディスプレイのカラー学習		
	5月	一点透視画法でのプラン画制作		
	6月	グループでの校内のショーウィンドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	グループでの校内のショーウィンドウ制作 (企画、プラン立案、制作、施工、撤去)		
	11月			
	12月	ストアディスプレイを学習、レポート制作② (VPについて)		
	1月	ストアディスプレイを学習、レポート制作③ (IP・PPについて)		
	2月	ショーウィンドウ制作を通して年間学習を総括		
3月				
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20%、課題20%、授業態度20%、実技20%			

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ファッションゼミA	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/>
担当教員名	小幡 賢二		<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
授業方法	講義 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実習	授業時間数	36
実務教員	○ 東京メイクアップアトリエ「エポック」にてメイクアップアーティストとして活躍後、本校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作の指導		
授業の概要	卒業制作における個人テーマ設定からコンセプトワーク及び作品制作を指導(トータルコーディネート)。ファッションイベントへ向けてのブラッシュアップ指導。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	卒業制作個人テーマ設定 コンセプトワーク①
	後期	10月	コンセプトワーク② 作品制作・コンセプトブックチェック
		11月	作品制作・コンセプトブックチェック
		12月	個人プレゼンテーションチェック
		1月	ファッションイベント準備(修正)
		2月	ファッションイベント準備→発表
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：作品完成度70% プレゼンテーションテクニック30%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	15
科目名	ファッションゼミB	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	畑山 浩子		(必修) 選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	234
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作のテーマにそって想像したものを形（洋服）にできるように指導する。 審査終了後の各自の作品を、ファッションイベントにむけて再指導をし更にレベルアップできるようにする。		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションゼミA（卒業制作の構成指導）からの縫製指導。 ・メイク・撮影の為の準備時間。 		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作（パターン作成、裁断、印付け）
		11月	卒業制作（縫製、メイク・撮影）
		12月	卒業制作（発表準備）
		1月	ファッションイベント（卒業制作発表会）準備
		2月	ファッションイベント（卒業制作発表会）
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題・実技50% 出席率・授業態度50%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	メイクアップテクニック	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	島香 淑	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ ~2017年まで、東京、大阪にて他分野にてヘアメイクをして活動後、仙台を拠点に全国へ活躍の場を広げている。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションが産み出すテーマやイメージを、より活かして表現する為のトータルバランスをヘアメイクでも実現できる様に、知識と技術を学ぶ		
授業の概要	ナチュラルメイクから、ファッション・トレンドメイク技術へレベルアップさせる。撮影、舞台メイクの違い、技術の習得。		
授業計画	前期	4月	ナチュラルメイクの復習
		5月	トレンドメイクの基礎
		6月	オープンキャンパス用のメイク練習 デザインの考案
		7月	トレンドメイクの応用
		8月	モデルに合わせたトレンドメイクをデザイン
		9月	舞台・ショーメイクの基礎
	後期	10月	舞台・ショーメイクの応用
		11月	ファッションイベント作品のメイクデザイン考案、練習
		12月	ファッションイベント作品のメイクデザイン決定、練習
		1月	ファッションイベント作品のメイク練習
		2月	ファッションイベントでのメイク本番
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 実技40%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	トレンド研究	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	小幡 賢二		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ 東京メイクアップアトリエ「エポック」にてメイクアップアーティストとして活躍後、本校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標及びテーマ	現在のファッショントレンドを理解する上で、戦後日本のファッションの歩み、1950年～2000年の年代別に焦点をあて、その年代の社会背景等を分析し、その年代の再現に今の感性をプラスしてスタイリングをする		
授業の概要	グループワークを通じて、情報収集から分析、新たなオリジナルコーディネートを作成させる		
授業計画	前期	4月	年代別トレンド分析①
		5月	年代別トレンド分析②
		6月	年代別トレンドマップ制作
		7月	オリジナルコーディネート作品制作及び撮影
		8月	プレゼンテーション(ステージ発表)
		9月	
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度30% 課題40%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ファッション販売Ⅱ	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志	必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	51
実務教員	○ (株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッション業界の現状と今後を理解することでアパレル業界を知る。 資格を取る為の勉強から資格を取るこの意味を考え達成感を得る。 ファッション販売能力検定2級取得。		
授業の概要	IT社会が拡大する中で、即戦力となる販売力と、コミュニケーション能力を身に付ける。今後必要な情報収集の方法を理解する。		
授業計画	前 期	4月	実店舗における販売スタッフの役割 ネットショップとの差別化を図る為に必要なコミュニケーション
		5月	情報収集の方法と活用方法 情報誌、専門紙からトレンドを予測する
			6月
		7月	ライフスタイル提案ショップ 服飾雑貨の知識
		8月	クレームの発生原因と未然に防ぐ方法 クレームが発生した時の対処方法
		9月	衣服のお手入れの知識。洗濯表示 素材、アイテムの知識
	後 期	10月	配色の知識と色から伝わるイメージ TPOとカラーコーディネート
		11月	副資材の知識、サイズの知識 VMDと売場づくり
		12月	マーケティングの知識 月別MDの手法
		1月	
		2月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	パーソナルカラー検定	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	本間 章		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (有)TAカンパニー取締役として、ブライダルプロデュースを手掛け、NPO法人プロカラーデザイン協会にて理事を務める講師が担当する。		
授業の到達目標 及びテーマ	パーソナルカラー理論の理解 コミュニケーション能力の習得 パーソナルカラーコンサルタント3級資格取得		
授業の概要	色彩理論、パーソナルカラー理論の習得 パーソナルカラー実技の習得 パーソナルカラー検定取得		
授業計画	前期	4月	色彩理論
		5月	パーソナルカラー理論 実技 学習テスト
		6月	↓
		7月	
		8月	
	後期	9月	
		10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題30% 出席率40% 授業態度20% 実技10%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	1
科目名	キャリア開発	授業期間	○前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		○必修 選択
授業方法	○講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○ (株)ファーストリテーリング、(株)三越伊勢丹ホールディングスにてキャリアを積んだ講師が、コミュニケーション能力、社会人基礎力の向上に繋がる講義を行う。チームビルディングや自己分析を行い、アパレル業界で必須の能力を養う。		
授業の到達目標 及びテーマ	就職活動や進路決定への不安を取り除き、全員が進路決定出来る様サポートする		
授業の概要	面接練習、グループディスカッション対策を行い、就職活動への恐怖心を和らげる。就職支援だけでなく、社会人としての教養も養い、卒業へ向けての準備をさせる		
授業計画	前期	4月	履歴書の書き方 受かるエントリーシートとは
		5月	敬語の使い方 適性検査対策 (SPI,一般常識問題) 集団面接対策
		6月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		7月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		8月	お金に関する学習 (クレジットカード、各種保険、年金、税金、生活費等)
		9月	将来のキャリア形成について (人生設計、卒業後の目標)
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	畑山 浩子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	68
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。		
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。		
授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	学校テーマ発表
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	卒業制作審査会
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ
		2月	練習、PR ファッションショー本番
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	スタイリスト	履修年次	2
コース名	メイクアップ	単 位	2
科目名	卒業制作	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	小幡 賢二		(必修) 選択
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	72
実務教員	○ 東京メイクアップアトリエ「エポック」にてメイクアップアーティストとして活躍後、本校講師を経て(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。		
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価1
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		